



政策協定事項

少子高齢化の現社会において、障害者や高齢者の豊かで生き生きとした生活の実現に資するよう、地域生活支援の専門職種である作業療法士による適切な作業療法の普及発展を図っていくことが期待されている。

大分県作業療法士連盟と参議院議員立候補予定者『小川 克巳』氏は、このような社会的要請に応えるべく互いに協力連携して下記課題の解決と実現に向けて取り組むこととする。大分県作業療法士連盟は 2016 年 7 月に行われる参議院議員選挙において『小川 克巳』氏の当選を目指し、全力を尽くすことを約束する。

大分県作業療法士連盟 会長 
公益社団法人 日本理学療法士協会 副会長 
参議院選挙立候補予定者

記

I. 「理学療法士及び作業療法士法」の見直し

社会のニーズに応え、作業療法が関連職種との協働のもとで、適切・柔軟かつ効果的に実施されるよう、「理学療法士及び作業療法士法」における作業療法の業務、養成課程等の見直しを図ること

II. 地域包括ケアシステムにおける作業療法士の活用

1. 市町村地域包括支援センターへの配置促進
2. 認知症ケアに取り組む介護保険事業所や認知症初期集中支援チームへの配置促進

III. 難病、発達障害、精神障害などの障害児・者の地域生活支援における作業療法士の活用

1. 障害者総合支援法に係る相談支援事業所、就労支援事業所への配置促進
2. 特別支援学校への配置促進

IV. 国立大学法人 大分大学に作業療法学科の設置

鹿児島県・長崎県・広島県・京都府等々の全国の国立大学法人は、理学療法学科・作業療法学科両学科が併設置されチーム医療の重要性が提示されている。しかし、国立大学法人大分大学は、リハビリテーション専門職種として福祉健康科学部に理学療法学科の設置のみである。

そのため、少子高齢化の進む大分県における人材育成の場として、国立大学法人大分大学に作業療法学科の設置実現に向け積極的に取り組むこと